

日本語研修コース報告（2022年4月～2023年3月）

田中 信之

1 はじめに

大学院入学前予備教育日本語研修コースは、主として、文部科学省によって配置される大使館推薦国費研究留学生および教員研修留学生を対象とした日本語集中コースで、毎年4月と10月に開講し、各期15週間75日のコースを提供している。本稿では2022年前期の第37期と2022年後期の第38期について報告する。

2 受講者

第37期は大使館推薦の国費研究留学生2人が受講した。第38期は大使館推薦の教員研修留学生2人が受講した。

3 コース担当者

国際機構専任教員2人（田中信之、朴銀鏡）と、非常勤講師7人（高島智美、田上栄子、中野香保里、水田佳歩、藤田佐和子、要門美規、横堀慶子）が授業を担当し、田中信之と朴銀鏡がコースのコーディネートをを行った。

4 コーススケジュール

第37期は、2022年4月12日（火）に授業開始、同年8月2日（火）に授業が終了した。第38期は2022年10月3日（月）に授業開始、2023年2月1日（火）に授業が終了した。授業は15週間75日の集中授業である。

5 コース内容

授業は月曜日から金曜日まで1日3コマ、あるいは2コマであった。レベルは初級で日本語の授業は「文法A1」「聴解・会話A1」「漢字A1」の計3科目である。これらの科目は日本語課外補講の授業と合同で開講される授業である。日本語科目は、基本的な日本語文法を習得し、運用できるようになること、文字についてもひらがなやカタカナ、基本的な漢字を習得することを目的として授業を行った。また、独自開発教材を用いて、正しい日本語の発音を身に付けるための指導も行った。

[使用テキスト]（主なもののみ）

<初級クラス>

- 文法 A 『みんなの日本語初級 I, II』第2版（スリーエーネットワーク）
『みんなの日本語初級 I, II 書いて覚える文型練習帳』（スリーエーネットワーク）
『毎日の発音練習』（独自開発テキスト）
- 聴解・会話 A 『みんなの日本語初級 I, II 聴解タスク 25』（スリーエーネットワーク）
- 漢字 A 『(新版)BASIC KANJI BOOK VOL.1 基本漢字 500』（凡人社）
- 生活日本語 A 『Basic Japanese for Students はかせ』〈1〉（スリーエーネットワーク）

また、通常の授業の他に、学生の生活指導や悩み等の相談（コンサルテーション）を行うために、「特別指導A」も行った。表2に第37期の時間割、表3に第38期の時間割を示す。

表2 第37期日本語研修コース時間割

	1 (8:45～10:15)	2 (10:30～12:00)	3 (13:00～14:30)
月	文法 A1 (横堀)	文法 A1 (横堀)	漢字 A1 (高島)
火	文法 A1 (要門)	文法 A1 (要門)	
水	文法 A1 (高島)	文法 A1 (高島)	特別指導 A (朴)
木	文法 A1 (横堀)	文法 A1 (横堀)	聴解・会話 A1 (横堀)
金	文法 A1 (田中)	文法 A1 (田中)	

表3 第38期日本語研修コース時間割

	1 (8:45～10:15)	2 (10:30～12:00)	3 (13:00～14:30)
月	文法 A2 (田上)	文法 A2 (田上)	漢字 A2 (水田)
火	文法 A2 (水田)	文法 A2 (水田)	聴解・会話 A2 (藤田)
水	文法 A2 (田中)	文法 A2 (田中)	
木	文法 A2 (中野)	文法 A2 (中野)	
金	文法 A2 (田中)	文法 A2 (田中)	特別指導 A2 (朴)

※網かけのクラスは日本語研修コース専用クラス、それ以外は日本語課外補講との合同クラスである。

6 成績評価

文法 A ではメインテキスト（『みんなの日本語』）に基づく定期試験を7回実施した。この定期試験は筆記試験（文法，作文，読解），聴解試験，会話試験から構成されるものであるが，37期は学期の途中までオンライン授業となったため，会話試験のみ実施した。38期は対面授業が行われたので，筆記，聴解，会話のすべての試験を実施した。また，漢字 A のクラスでは期末に対面で試験を実施した。コース修了時に，コース全体の成績判定を行い，コースへの出席率も含めた成績表を作成して，受講者本人と指導教員へ通知した。

7 コース評価

日本語研修コースでは，コース改善に役立てるため，学期終了時にアンケート調査を実施している。実施前に，成績等には全く影響しないことを伝えた上で，アンケート調査票に記入してもらった。第37期生・第38期はともに受講者が少人数のため，日本語研修コースでは結果を公開せず，日本語プログラム授業アンケート初級クラスとして公開することとした。

8 おわりに

日本語研修コースは2023年3月に第38期生を送り出した。これまでに文部科学省からの配置学生等211人がこのコースを修了している。今年度は富山県立大学に進学する者1人、上越教育大学に進学する者2人を受け入れることができた。今後も、近隣地域の大学から依頼があれば、日本語研修コース生として受けれていきたい。その期待に応えるためにも、さらに日本語教育の充実を図っていく必要がある。